

僕のピアノコンチェルト (2006)

VITUS

メディア 映画

ジャンル ドラマ 音楽

製作国 スイス

色彩 Color

時間 121分

初公開日 2007/11/03

公開情報 東京テアトル

【キャッチコピー】

彼の奏でる音楽は♪みんなをしあわせにする。

【解説】

「山の焚火」「最後通告」といった個性的な作品で日本でも知られるスイスの巨匠フレディ・M・ムラー監督が、ピアノと数学に天賦の才を発揮する天才少年の孤独と心の成長を描くヒューマン・ドラマ。天才ゆえの苦悩を抱えながらも、両親や周囲との軋轢を乗り越え本当の自分を掴み取ろうと悪戦苦闘する少年の姿を、ユーモアを織り交ぜ優しい眼差しで綴る。主人公ヴィトスの12歳を演じるテオ・ゲオルギューは、自身も国際的なコンクールでの優勝実績を持つ新進ピアニストで、劇中の演奏シーンも彼自身がこなしている。スイスを代表する名優ブルーノ・ガンツが、主人公と心を通わず祖父役で出演。

人並み外れたIQを持ち、ピアノを弾かせればまるで巨匠のような腕前を披露する天才少年、ヴィトス。やがて両親のレオとヘレンは、息子を一流のピアニストに育てるべく音楽学校に通わせることを決意する。しかし両親の過剰な期待がありがた迷惑でしかないヴィトスにとって、お祖父さんだけが唯一の理解者であり、お祖父さんと一緒に過ごしているときだけが心の安まる時間だった。やがて12歳となったヴィトスの生活はますます息苦しく孤独なものとなっていた。そんなある日、ヴィトスはマンションから落ちたところを発見される。怪我はなかったものの、事故の後遺症で高いIQもピアノの才能も失い、すっかり普通の男の子になってしまったヴィトスだったが…。

【クレジット】

監督	フレディ・M・ムラー	Fredi M. Murer	
製作	クリスティアン・ダヴィ クリストフ・ネーラッハー	Christian Davi Christof Neracher	
脚本	フレディ・M・ムラー ペーター・ルイジ フレディ・M・ムラー ルカス・B・スッター	Fredi M. Murer Peter Luisi Fredi M. Murer Lukas B. Suter	
撮影	ピオ・コラッディ	Pio Corradi	
プロダクションデザイン	ズザーヌ・ヤオッホ	Susanne Jauch	
衣装デザイン	ザビーヌ・ムラー	Sabine Murer	
編集	ミリアム・フルーリー	Myriam Flury	
音楽	マリオ・ベレッタ	Mario Beretta	
出演	テオ・ゲオルギュー ブルーノ・ガンツ ジュリカ・ジェンキンス	Teo Gheorghiu Bruno Ganz Julika Jenkins	ヴィトス・フォン・ホルツェン (12歳) 祖父 ヘレン・フォン・ホルツェン

ウルス・ユッカー	Urs Jucker	レオ・フォン・ホルツェン
ファブリツィオ・ボルサニ	Fabrizio Borsani	ヴィトス・フォン・ホルツェン (6歳)
エレニ・ハウプト	Eleni Haupt	
タマラ・スカルペリーニ	Tamara Scarpellini	
ノルベルト・シュヴィーンテック	Norbert Schwientek	
ダニエル・ロール	Daniel Rohr	
ハイディ・フォルスター	Heidy Forster	
クリスティーナ・リコーヴァ	Kristina Lykova	